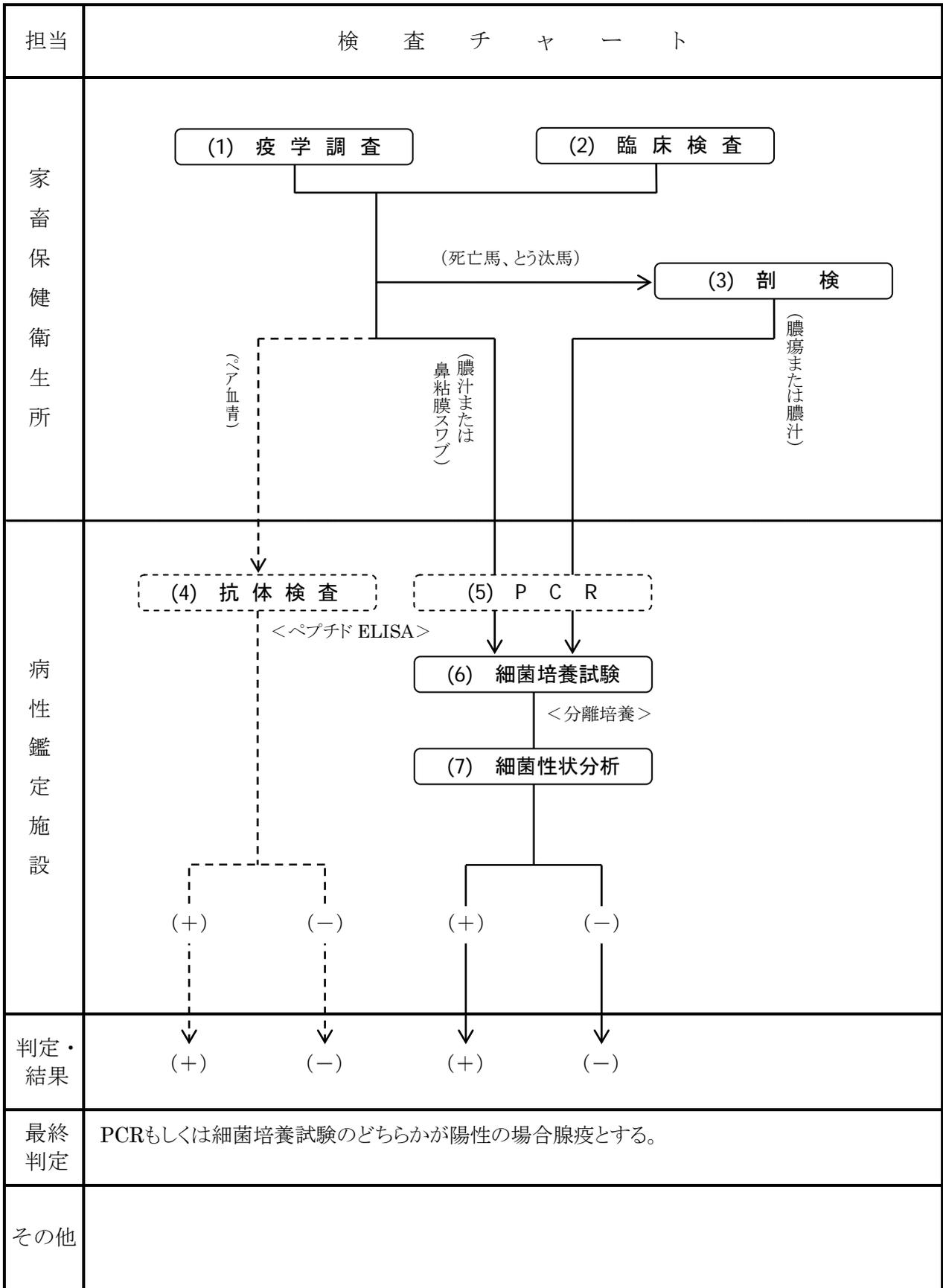


154 腺 疫



→類似疾病検査

- ① (腺疫菌以外の) β 溶血性レンサ球菌症
- ② 148 馬鼻肺炎
- ③ 147 馬インフルエンザ
- ④ 155 ロドコッカス・エクイ感染症

○ 病原体: *Streptococcus equi* subsp. *equi*

(1) 疫学調査

- ① 輸送、集合等の後に流行が多い。
- ② 若齢馬は感受性が高いが、成馬も発症

(5) P C R ^{2), 3)}

次の細菌培養試験と同じスワブ等を用いた特異的PCR産物の検出により診断が可能

(2) 臨床検査

- ① 発熱
- ② 一般状態の悪化
- ③ 膿性の鼻汁
- ④ 下顎等頭部リンパ節の化膿性腫大、自潰、排膿
- ⑤ 表在リンパ節の多発的腫脹(転移性腺疫)
- ⑥ 嚥下困難
- ⑦ 続発症(出血性紫斑症)

(6) 細菌培養試験(分離培養)

- ① 膿汁または鼻粘膜スワブを、血液寒天培地または CNA 血液寒天培地を用いて 37℃で 48 時間分離培養
- ② β 溶血性で露滴状の透明な小集落を形成

(7) 細菌性状分析

“分離菌の性状” 参照

(3) 剖 検

- ① 下顎および咽頭後リンパ節の腫大、膿瘍形成
- ② 重症例では全身リンパ節に膿瘍形成
- ③ 上気道粘膜の膿性カタル
- ④ 喉嚢蓄膿症

(参考文献)

- 1) Hobo, S., et al.: Vet. Rec. 162, 471-474 (2008).
- 2) Anzai, T., et al.: J. Equine Sci. 17, 101-104 (2006).
- 3) Newton, J.R., et al.: Equine Vet. J. 32, 515-526 (2000).

(4) 抗体検査(ペプチドELISA) ¹⁾

ペプチド ELISA。

(分離菌の性状)

血清群	菌 種	発育性					抵抗性 30℃ 60分	エスクリン	アルギニン	馬尿酸	アラビノース	リボース	トレハロース	ラクトース	サリシン	グリセリン	マンニト	ソルビット
		45℃	6.5% NaCl	pH 9.6	10%胆汁	40%胆汁												
C	<i>S. dysgalactiae</i> subsp. <i>equisimilis</i>	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	+	+	d	d	d	-	-
	<i>S. equi</i> subsp. <i>zooepidemicus</i>	-	-	-	-	-	-	-	+	-	-	d	-	+	+	-	-	+
	<i>S. equi</i> subsp. <i>equi</i>	-	-	-	d	-	-	-	+	-	-	-	-	-	+	-	-	-

d:株によって異なる。